

「障害児者のきょうだい」セミナー

～きょうだいの立場から照射する障害者のいる家族の生活問題～

ひとりだけで苦しむのはよそう
ひとりだけでボソボソ言うのはよそう
なぜならそれは皆の苦しみだから
“生きていて本当に良かった、と
きょうだいと障害者が
ともに言える社会を創ろう！”

全国きょうだいの会発足時の呼びかけ文
（『朝日新聞』読者の欄、1963. 4）

●私たちは「障害児者のきょうだい」のセルフヘルプ・グループです。自分を大切にしたい、自分自身の人生を生きたい、でも障害のある兄弟姉妹と親のことが気にかかる・・・と苦悩する仲間たちがいます。背景には「障害児者本人のケアは親・きょうだいの責任だ。福祉サービスはあくまでも補助的なものだ」と考える社会の存在があります。「美しい家族愛の物語」を描く社会の規範があります。残念ながら、私たち自身、その価値観を内側に潜ませています。

●一方で、「障害児者のきょうだい」は心理的・社会的・経済的にさまざまな困難を抱えています。時には、自らの存在自体を脅かされるような精神的危機に出会うこともあります。障害のある本人と親にはそれなりにスポットが当たるようになってきましたが、その兄弟姉妹（きょうだい）の存在は、世の中の人たちにはあまり知られていないという現実もあります。私たちが日々の暮らしのなかで感じている思いを当事者として発信していくことが、さまざまな人たちと交流していくことが、今、必要ではないかと考えています。

●障害のある本人も、親も、きょうだいも、そして世の中の誰もが「生きていて本当に良かった」と言えるように、その人らしく「普通の生活」を過ごせるように・・・と願って「障害児者のきょうだいセミナー」を開催します。

●日 時 6月26日（日）13：10 開場・受付、13：30～16：15

●内 容 佛教大学社会福祉学部准教授・田中智子さんの講演／意見交流会

●会 場 アネックスパル法円坂（3階1号室）

住所＝大阪市中央区法円坂1-1-35／交通＝JR・地下鉄「森ノ宮」から西へ600m、
地下鉄「谷町4丁目」⑩⑪出口を東へ500m、難波宮跡公園となり、KKRホテル向かい

●対 象 概ね18歳以上の「障害児者のきょうだい」、親、テーマに関心がある人

●定 員 45名程度（申し込み順） ●費 用 1,000円

●申 込 下記の申込書に《必要事項》を書き、く06-6745-5208 大阪きょうだいの会くあて、
FAXしてください。締め切り＝6月18日（土）

※問合せ 大阪きょうだいの会（世話人090-2384-9368）まで

主 催 大阪きょうだいの会（大阪「障がい」のある兄弟姉妹とともに歩むきょうだいの会）

協 力 全国きょうだいの会（全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会）／京都きょうだい会（京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会）／神戸きょうだい会（神戸・心身障害者をもつ兄弟姉妹の会）／NPO法人いちばん星・きょうだいの会くキラリく／大阪府重症心身障害児・者を支える会（全国重症心身障害児（者）を守る会大阪支部）

「障害児者のきょうだい」セミナー 参加申込書

2016年 月 日

名 前		男 ・ 女	() 歳
連絡先	〒 _____ 住所	電話 _____ Fax _____	
立 場	兄 ・ 弟 ・ 姉 ・ 妹	親	その他 ()